

# あるいは 一族の血

## 登場人物

カン・ビルト・ヤスコト (35)

近田貿易の社員。

近田 勇 (90)

近田貿易の会長。

## 時代

2017年。

ある洞窟の中。上手側、屋根まで高さ三メートル、下手側に向かって低くなっていく。十畳くらいの広さ。中央奥から手前、さらに下手前まで鉄格子、もしくは金網で仕切られ、すなわち客席側から見て、舞台左半分は牢屋になっている。格子（金網）の中央手前付近に扉がついている。金網の場合は、所々に破れ目が必要。

右はあくまで目安であり、もっと狭く圧迫感があってもよいと思う。むしろ広くてもよい。

下手奥には通路。上手奥の天井には人が通れるほどの穴があり（穴は見えなくてもよい）、その下の壁沿いに手すりがついて、昇り降りできるようになっている。穴から微かに光が入ってきている。

牢屋の中にはゴザが敷いてあり、スーツ姿の老人、近田勇（90）がどうやら寝ている風。

傍らには木製のイスとテーブルが一脚づつ。テーブル上には眼鏡がある。

上手中央にも同じくイスとテーブルが一脚づつ。そのイスにスーツ姿のカン・ビルク・ヤスコト（35）が座り、テーブル上のロウソクの火で何やら書類を読んでいる。足元には鞆。

少しして、勇が寝返りを打ち、何やら呻き声。  
カン、それに気づき、勇を凝視する。

勇、目覚めて半身を起こし、しばし呆然としたあと、自分の衣服、敷かれているゴザを確認し、回りを見て、鉄格子越しにカンと目が合う。

誰だ。

お目覚めですね。あ、眼鏡はその机の上に。

（ゆっくり起き上がり、手探りで机の上の眼鏡を取り、かける）貴様・・・ここは何だ。これは何だ。（両手で格子を掴む）

（立ち上がり、腕時計を見て）約6時間のお昼寝でした。今は夕方の5時ちょっと過ぎです。

勇  
カン  
勇  
カン

勇 冷静に周りを見渡して、カンを睨む）。まさかこのわしを誘拐じゃあるまいな。

カン 少し違います。いや、同じようなものかな。会長、誠に恐れながら、我々はあなたを世間から隔離するのです。

間。

勇 . . . 何のためだ。  
カン 会社のためです。

間。

勇 我々とは？

カン . . . 想像してください。

勇 . . . 何だったかな、名前は？

カン . . . ビルク・ヤスコトです。

勇 お前、金が欲しいんだろ？ 確かお前の出身は. . .。

カン ええ。日本人なら誰もが興味を抱くこともない、南国アジアの小国です。

勇 . . . カンとやら。今年で90になるこのわしを誘拐してどれだけの金が、

カン 憲って）会長。身代金目的ではないのです。

勇 では何だ？

カン 単刀直入に申し上げます。今、中国のシャイニーグループが持ちかけているM&Aを受け入れてください。

勇 . . . 何だと. . . (傍白) となるとやはり役員連中の差し金か. . .

カン (遮る) それと、会長の持ち株を全部、社長に譲渡してください。

間。

カン 以上を受け入れて貰えないのなら、残念なことここにあなたあの墓場です。

間。

勇、牢屋内をうろろうろ。

勇 真一までグルだというのか？  
カン そうです。

勇 嘘をつけ！ 真一はわしと同じ考えだ。  
カン ではなく、大株主であるあなたへ遠慮しているだけでは？

勇 会社の創業者でもあり、父でもあるあなたへ．．．あまり社長を困らせないほうがいいのではないですか？ 社長以下、役員の結果はすでに出ているのに、あなたが強硬に反対するものだから間に立って針のむしろではないですか？

勇 ．．．貴様、ただの一人社員の分際で。

カン 恐れながら会長。今はただの一人社員ではなく、会社の将来に  
勇 関して、重大な計画を実行する者の一人です。

勇 ．．．真一と話をさせろ。

カン もう充分したはずです。

勇 これが、こんなことが役員同意のもとだとどうやって証明できる。重大な犯罪だぞ。

カン 私の行動がすべての証明です。さ、テーブル上の書類を取り、  
カン 広げながら）よく聞いてください。まず M & A を受け入れる、  
勇 役員会議の決定を支持する、と委任状に一筆書いてください。  
カン これが第一。そして持ち株を全部社長に譲る、と。これが第二。そして第三．．．父と同じ道に行く、探してくれるな、と  
勇 手紙を書いてください。

勇 ．．．何だと。

カン それぞれに署名、捺印もお願いします。

カン カン、牢屋内のテーブルの上に、格子越しに書類を置く。  
さらに鞆から小袋を取りだし、

カン 実印と愛用の筆です。（をテーブルに置く）

間。

勇 父と同じ道に行く？ ．．．探してくれるな？ ．．．それはどう  
カン いう意味だ？

カン この書類に署名、捺印を頂いても、あなたが世間に戻ること  
はできないということですか？

間。

カン ここを出て港から船に乗り、ある南国の無人島に行くという  
勇 ことです。

カン ．．．殺す気なのか？  
勇 滅相もない。ちゃんと見張りをつけて、住む所、食べるもの

に不自由はさせません。

．．．。

勇 隔離すると、言いました。

カン ．．本気か？  
勇 もちろんです。ここで餓死するか、それとも無人島でのんびり余生を過ごすか、二つに一つです。

勇 計画の大本は誰だ？

カン 想像してください。

勇 ふざけるな！ 一体何だこの仕打ちは！

カン 被害者ですか？ 嘆くのは構いませんが、時間はあるのでゆっくり考えてください。

と、イスに座り別の書類を読んだり。勇もゆっくり座る。間。

勇 おい。

カン はい？

勇 お前、中国側の回し者だな？

カン ご冗談を。

勇 なぜ島流しが必要だ。

カン あとであれこれ喋られても困りますので。

勇 そんな元気はない。

カン あると思います。あなたは怪物ですから。

勇 他に一筆書けばいいだろう。何なら会長を辞めてもいい。

カン 信用できないから、こうなっただけです。裏でアメリカの会社

勇 と取り引きを進めていたこと、知らないとしても？

カン ．．何だと？

勇 それを水面下でこそやるのはうまくないです。

カン ．．なぜお前がこの件をまかされた？ お前は何を、どこまで

勇 知っている？

カン 全部知ってます。

勇 お前、利用されてるだけじゃないのか？ こんな重要なこと

カン をお前みたいなの．．。

勇 お前みたいなの．．。

カン ．．．。

勇 途上国の一アジア人にまかせるわけがないだろう？

カン ．．お前もわしと同じ運命を辿るぞ。

勇 口封じにですか？

カン ．．そうだ。

カン さあどうでしょう。少なくとも他の方々はあなたのように

露骨な差別主義者ではありません．．．ところで、腕時計を見る（私はそろそろ行かねばなりません 立ち上がる）。一晩じつくり考えてみてください。あ、あの奥に（ど下手奥を指す）水が流れてます．．．きれいな川の水でおいしいです。用足しはその下にしてください。ずっと下のほうに流れていきますので．．．よくできてますねこの洞窟は。何でも江戸時代の牢屋だったらいいです。ただ格子がぼろぼろだったもので、これは我々で付け替えました。じつにロマン溢れる場所だと思いませんか。鞆を持つ）では、また明日。おっとそうだ。（ど、テーブル上のロウソクの火を吹き消す）

カン  
すべては有料です。

カン、手すりに昇る。  
勇、あまりの展開になかなか声が出ない。

勇  
おい．．．おい！

カン、穴から退場。かすかな月明かりが漏れてくる。

勇  
出せ．．．ここから出せ！

暗転。

二場

明転。

勇、ゴザを背に寝ている。上手上の穴付近に足音。  
カンが手すりを伝って降りてくる。カバンをたすき掛けにかけている。  
その音で目覚めた勇、せいて起きようとするが、体がいうことをきかず、何とか起き上がり、眼鏡をかける。  
カン、基本的に黒のスーツ姿だが、ワイシャツとネクタイの色は毎回違う。

カン  
鞆を置いてライターでロウソクに火をつける（お早うございます．．．と言ってももう昼の3時過ぎですが）

勇  
（睨む）  
牢屋内のテーブルを見て）書類は．．．手付かずのようです

勇　．．どうします？　もうお年なんですから、無理をせずには．．

カン　警察はわしを捜していいのかわか？　だいたい誰が捜索願を出すんです？

勇　この件を知らない者が不信に思うだろう。

カン　会長。このような大それた計画が行き当たりばったりだと？

勇　．．．

カン　（イスに座る）あなたは家出したんです。

勇　．．．

カン　昨日話したように、父と同じ道を辿る、探してくれな、という置手紙を残し、パスポートと預金通帳と印鑑、あと小切手帳など諸々と一緒に、です。

勇　．．．

カン　父と同じ道。これが何を意味するかは当然あなたはよくご存知だし、社長の真一さんを初め、近親者は皆、知っています。あ、役員連もですね。

勇　．．．

カン　昨日、あなたは役員と会食だとお手伝いさんや秘書に伝え、家を出た後、急遽空港に向かい、そのまま出奔したことになっています。今頃はフランスのパリでしょうね、あなたのパスポートを持った影武者さんは。そして来月には中東に入り、そこで行方不明になるんです。

勇　．．．

カン　そしてしばらくしますと、中東から会社に小包が届くはずなんです。

勇　．．．どういう意味だ？

カン　その中身がですね．．会長が書いて書名、捺印してある二つの委任状のほうなんです。

勇　．．手紙は自分たちで書いたんだろう？　委任状もそうすればよい。

カン　念のためですよ。誰も毛筆鑑定なんか依頼しないでしょけど。念のため置手紙も書いて頂きたい。差し替えますので。

勇　．．本当に真一も知ってるんだな？

カン　残念ですが。

勇　何て奴だ！　．．何て男だ！　息子が親を！

勇、うろろろと逡巡する。  
間。

勇　よし．．書こう。

カン 恐れ入ります。

勇、イスに座り、筆を出して委任状を書き始める。  
立ってそれを見つめるカン。  
ふと思いついたように鞆から箱詰めのリウソクとライター、レシート、紙、小切手帳を取り出し、テーブルの上に置く。

勇は躊躇なく書き続けるが、3枚目で手が止まる。

カン 覗き込んで）父と同じ道を、  
勇 言うな！　．．わかつとるわい。（と書き出す）

書いて一息ついたあと、実印を朱肉につけて、3枚分捺す。

勇 これでもいいだろう。  
カン 近づいて書類を取り、しげしげと眺め）ありがとうござい  
ます。

カン、書類を鞆の中にしてしまう。そして一仕事終えた安堵のため息をつき、ゆっくりと勇と正対する。

勇 どうした？　中東に送るんだろ？  
カン ええ。正確には送るのではなく、別の者が持って行くのです  
が。

随分悠長じゃないか。  
カン 焦らないのが肝心です。

（ぞっぽを向く）これでわしは島流しか。

カン ええ。

勇 じゃあ早く連れてけ。それと何か食わせる。

カン 焦らないのが肝心です。

勇 腹が減ったと言ってるんだ！

カン ええ。ですから今からルールを説明します。物凄く簡単です。

勇 ．．．？

カン つまりですね、まだ時間があるのです。引越しまでは。

勇 ．．何を待つ？

カン まず名目上、我々はあなたを探しています。そのうちあなたが

が中国から中東に渡ったと知ることになります。関係者が中東に派遣されます。秘密の書類を（あごで鞆を指す）持って、ですね。しかしあなたは見つかりません。中東で忽然と消えてしまうのです。そのうち書類が会社に届きます。会議が開

かれ、我々の会社、近田貿易は、中国のシャイニーグループに吸収合併されます。

間。

我々の会社？

．．ええ。

（激怒）わしの！．．．（力なく）わしの会社だ．．．

間。

カン

あなたが外国に出奔したことは、世間には秘密にしますが、噂は広まるでしょう。しかし我々は口を閉じます。身内のプライベートなことだからと．．．もっとも株主総会ではある程度までは話しますけれど。

．．．。

勇  
カン

本題です。今話したところに至るまで、我々の計算では約3カ月．．．あなたはそれまでここにいるのです。

勇  
カン

．．．なぜだ。  
引っ越せば日用品以外は何も届けません．．．知りたくはありませんか？ 我が子よりかわいい会社がどうなるか？

勇  
カン

．．．それで？  
それまでできるだけこの家で快適にお過ごし頂くかと思ひまして。それでルールなのですが、テーブル上のメモ帳とボールペンを見せて）まず日常で必要なものをこれに書いてください。と言っても主に食料ですが、注文すれば届けます。

（宅牢屋内のテーブルに置く）むろん有料ですけど。小切手帳を見せる）あなたの小切手帳です。（宅牢屋に置く）

勇  
カン

．．．いくら欲しい？（宅牢屋の小切手帳を開く）

勇  
カン

いえ、会長。使ったぶんだけ頂きます。  
回りにくいことをするな！ 金ならやる。さっさとここから

カン

出せ！  
（構わず）電気、ガス、水道は使えません。通信機器も使え

勇  
カン

ません。新聞雑誌はオーケーです。  
こんなところに3カ月もおれるかっ！

カン

慣れればきっと快適です。ロウソクとライターです。（宅牢屋内のテーブルに置く）そして、レシート。（宅牢屋に置く）メモ帳とペンとロウソクとライター、以上で785円．．．掛ける千で78万5千円です。この額のの小切手を切ってください。  
．．．お前と遊ぶつもりはない。

勇

カン ここに居るあいだ、会社の進捗状況はお伝えします。私は秘書や執事みたいなものです。

カン ならここから出せ。  
それはルール違反です。会長、これから過ぎす時間は私が社長を始め、役員方に頭を下げて実現した、大切な時間なのです。つまり私の個人的な、時間です。

間。

勇 貴様、何者だ。

カン それはおいおい話します。注文する商品は時価の千倍。これに意味はありません。私は貧乏な国の貧乏な育ちでして、お金を無駄に使う人間を観察したいという、個人的な趣味です。

カン さて、長い時間になりますが、注文はどうします？　まずは食べ物、あと、着替えにハブラシ、といったところですか？  
勇 . . . お前 . . . 立ってカンに近づいて . . . もしかすると、わしの子供か？　(どしげしげと見つめる)

暗転。

黒子、上手のロウソクを消す。

三場

黒子が牢屋内のロウソクを点ける。  
明転。

勇はイスに座り、パジャマにスリッパ姿で火の明かりで新聞を読んでいる。テーブル上には小さな時計、メモ帳、小切手帳、ペン立て、ペットボトルの水、卓上カレンダー等。下手前には布団が畳まれている。

近くには新聞、雑誌、本、ラジカセ等が置かれている。中央奥の格子には竿竹が一本、横に渡してヒモで縛ってあり、そこにハンガーでスーツやズボン、シャツ等が掛けられている。

中央奥の格子の外側にゴミの入ったゴミ袋が2、3ある。

勇 (独白) . . . また下がつとる . . . 時計を見て) 遅いな . . .

勇、眼鏡を外して目をこすったり。

足音がする。勇、敏感に反応して新聞を畳む。  
カンが袋を片手に降りてくる。

勇 おお、お前か．．あの男はどうした？ あの、営業課の、  
カン 鈴木です。丁度上で会いまして、私がついでに持ってきまし  
た。(ト袋を差出す)

勇 (受け取り) おお．．そうそう、カツ丼が食いたかったんだ。  
(ト弁当とお茶、缶コーヒをテーブル上に置く。邪魔な物  
は下に置く)．．いくらだ？

カン (トシートを見て) 67万と1千円です。

勇 償れた手付きでさっさと小切手を切る) ほれ。

カン どうも。(ト受け取り、レシートを牢屋内のテーブルに置く)

勇、レシートに気も止めず、弁当をうまそうに食べ始める。  
カン、小切手を懐に入れて、座る。

勇 あ。

カン はい？

勇 あいつ、味噌汁忘れてるな。

カン これは失礼しました。すぐに、(ト立ち上がる)

勇 いや、いい、いい。お茶はあるしな。味噌汁は晩飯の楽しみ  
にとっておこう。

カン ．．．。(座る)

間。

勇 (食べながら) で、何だ。進展があつたのか？

カン いえ、まだ書類が本社に届いていません。

勇 まだ？ (カレンダーを見て)．．あれからもう2週間だぞ。

カン 予定では来週です。  
勇 そうか。

間。

カン だいぶ落ち着かれたようぞ。

(食べながら) 30年前くらいに肝臓をやられてな、無理や  
り入院させられた．．だいぶ暴れたなその時は．．がしかし、  
2、3日もすると落ち着いてな．．元来あきらめがいいのか  
もしれん。

間。

カン その時以来ですか、酒もタバコも辞めたのは？  
勇 何だ、わしのことは何でも調べ上げて知っとるんじゃないのか？

カン (苦笑)細かいことまでは覚えていません。

勇 酒は20年前、タバコは10年前に辞めた．．．ところで、頼んでおいた件はやってくれたのか？

カン その件でしたら問題なく．．．義理堅いですね、会長は。

カン メシの最中に皮肉はよせ。

カン 感心してるんです。

カン 金があればこそだ。それもこれもな。

カン ．．．

カン ．．．ところで会社の株はまた下がったるな。

カン ．．．会長が家出したことはネットニュースで出回ってますから。こちらは公式にはただの旅行ということにしていますので、一般の新聞には載りませんが。

カン 雑誌にも載ってないぞ。

カン そのうち載りますよ。

カン どういう話になる？

カン ．．．会社が吸収併されることに頑なに反対する会長が、全体会議を避けて、海外に旅行。もっとも決定権はないので、どのみち会社は合併される模様。ただ大株主である会長が生きている限り、経営権は渡さないと思われる。

カン ．．．それで。

カン 中東から会長の手紙届く。持ち株をすべて息子である現社長に譲渡。社長はシャイニーにその株を売り、経営権も渡すと見られる．．．です。

カン わしはどうなる。

カン 会長以前行方不明。家族には、父と同じ道を辿る探してくれるな、の置手紙があった．．．となります。

カン ．．．結末は？

カン 会長の父上、近田雄之助の人生を振り返り、息子、勇との確執で同じように家出をしていたと。息子は人生の晩年になり、父への仕打ちを激しく後悔し、同じ道を辿ることにしたと思われる。尚、父雄之助や、息子勇がどこへ行ったのかは同じように不明のままである。

カン ．．．それで収まるか？

カン 収まりません。畏れながら世間は90にもなる人の行動に興味を示しません．．．蛇足ながら愛人やその子供たちについて何

勇 か流れてもそれは我々が漏らしたものではありません。  
．．それはどうもご親切に。

勇、弁当を食べ終わり、空箱を格子の外にある袋に入れる。  
そして缶コーヒーの蓋を開け、おいしそうに飲む。

勇 (ため息) コンビニの弁当ってのも、食べ慣れればいけるも  
んだな。(缶を見て) これもな。鈴木が勧めるんだ。

カン ．．会長。  
何だ？

命乞いをしないのですか？

勇 ．．誰にだ。お前にか？ (嘲笑)

私じゃ、役不足ですね。

勇 カン いや。誰がきても同じだ。わしは諦めがいいからな。(笑う)

間。

勇 ところで今回の件、中国側にはどう説明しとる？

カン ．．中国側はすべて承知です。

勇 ．．承知だと？ じゃあやはり大本は奴等か？

カン いえ、違います。

勇 (嘲笑) 何にしろ、半国营企業が犯罪に手を貸すと．．バツ  
クには共産党の幹部か？

カン その幹部は日本の政権与党と繋がりが。

勇 ．．磐石なスクラムといったところか．．しかしわしが副総

理の米長と親しいことは幹部議員は皆知つとるはずだがなあ。

カン アメリカ通の方ですね．．しかしリベラルな議員も結構いる

勇 んです、政権には。

カン ．．お前達にそんな舵取りが出来るのか？

勇 それは私にはわかりません。役員たちの仕事です。

カン ．．お前の役割は何だったかな？

勇 あくまでも今回の件に限り、実行役に名を連ね、こうして会

長と過ごす時間を与えられた者です。

勇 もうこの質問は何度目かな．．なぜお前だ？

間。

勇 カン お前、将棋できるか？

カン ．．は？

勇 床上にある将棋版と駒を机上に載せる(まあ将棋でも指し

ながらのんびり話そうじゃないか。こっちにこんか。  
（立ってイスを格子の前に置き、勇と対峙するように座る）  
勇 駒を並べながら）一人じゃ寂しい宵の口、と・・時計を見  
カン 駒を並べながら）ええ。  
カン 駒を並べながら）ええ。  
勇 さて・・わしから行くぞ。  
カン ・・どうぞ。

以降、将棋を指しながらの会話。

勇 昨今の若者は囲碁も将棋もせんそうだが、お前はどうか？  
カン なかなかやる機会はないです。  
勇 金のかかる娯楽しかせんのは、墮落だぞ。  
カン お言葉ですが、今の日本ではお金を使い経済を回さないこと  
には・・。  
勇 何をこしゃくな。お前達が小金を使って何が変わる？  
カン 塵も積もれば富士の頂。  
勇 ・・何だそれは？  
カン 会長のお言葉です・・半世紀前の。  
勇 ・・忘れたな。

間。

カン 今、もっとも消費をする国はご存知だと思います。  
勇 それがどうした？  
カン そういう国と付き合うのは悪いことではないと思います。  
勇 ・・。  
カン 来年の今頃、我が社の株価は倍になります。  
勇 わしはバイバイになるがな。（笑う）  
カン 苦笑）そういう冗談もおっしゃるんですね、会長。  
勇 その昔はよく落語を聞いたもんだ・・そうだ、今度落語のC  
カン Dを持ってこい。ラジオは電波が悪くてだめだからな。志ん  
カン 朝なんかいいな。知ってるか？  
カン いえ。メモ帳に書いて頂ければ、今度お持ちします。ど打つ  
勇 ほう・・そうくるか・・お前、ど素人ではないな。ど打つ  
カン 恐れ入ります。

間。

勇 どこまでわしのことを調べた？

カン　．．おそらく会長の想像以上に。

間。

勇　で、計画の大本は誰だ？　もう話してもいいだろう。

カン　．．役員の総意です。社長も含めて。

勇　そこが最大の疑問だ。あいつ等にこんなことを決断できる度胸があったかな？

カン　少なくとも社長の真一さんには、あります。

勇　．．それに同調するにしても勇気と覚悟が必要だ。

カン　後押ししてくれる材料があったのです。

勇　．．脅迫か？

カン　ご想像にまかせます．．しかし会長とのこの時間は私の意志

カン　です。前に話しましたが。

勇　で、お前の正体は？　前に質問しましたが。

間。

カン　私の父は日本人です。でも会長、あなたは私の父ではないで

勇　す．．お心当たりがあるのかもしれませんが。

カン　お前はチョコチョコ皮肉を言うのお。

カン　畏れ入ります。

勇　．．真一の子か？

カン　違います。次男の登さんの子でもありません。愛人に産ませ

勇　た子供たちが親でもありません。

カン　．．わしを愚弄しているつもりか？

カン　滅相ありません。

勇　いったいお前は、わしとの時間で何を話したいのだ？

カン　．．まずは家族の話を．．。

勇　家族？　なぜだ。調べはいつとるだろう？

カン　今の家族ではなく．．会長のご両親との関係、生まれ育った

カン　ころの話が聞きたいのです。

勇　わしはお前が何でそんなことを知りたがるのかを聞きたいな。

カン　父との確執の話なら真一に聞けばよい。

カン　．．私、将来は故郷に帰って事業を興すつもりです。

勇　ほう。

カン　我が故郷のあの風土。それを壊さずして事業を営むにはどう

勇　すればよいか．．資本家に搾取され続けるのは惨めです。

カン　わしの家族関係とは別問題だろう。

カン　いえ会長。搾取される側からする側に回った人間の心の変化

に私、興味がありません。一生かかっても使い切れないお金を稼いでも、尚飽きたらないその欲望、それは単に資本主義の麻薬なのか、それとも家族関係が影響しているのではありませんか。

貧乏のどん底から日本でも指折りの貿易会社を創り上げた会長から、直接色々お聞きしたいのです。

ありがとうございます。聞きたいのなら話してやろう。

しかし条件があるぞ。

．．．何でしょう？

この勝負でわしに勝つことだな。

．．．

何だ。お安い御用とでも思ってるのか？

いえ。もとより、真剣勝負で。(ど打つ)

よし．．．あ、ちょっと待て！

はい？

その手は、ちょっと待て。

．．．会長。

何だ！ わしは90歳だぞ。

(苦笑) かないませんね。わかりました。3度までですよ。

ただとは言わん。百万でいいな。(ど小切手帳を開く)

いえ、いいです。

遠慮するな。ワイロじゃないぞ。(書く)

会長。本当に結構です。

無駄使いが見たいんだろ。(ど差出す) 受け取れ。

(受け取る)

金を使って経済を回さんことにはな。(笑う)

暗転。

黒子、ロウソクを消す。

四場。

黒子、牢屋内のロウソクに火を点ける。

明転。

三場の始まりと同じく、勇はイスに座り新聞を読んでいる。物の配置など、少し変わった程度。

上手上の穴付近に足音。やがて鞆を肩に掛けたカンが降り

てくる。

カ 今晩は。

勇 おお、待ってたぞ。何か報告があるんだろ？（畳む）

カ 韃を下ろす）ええ。少し疲れてます？

勇 少しだと？馬鹿者、だいぶ疲れとるわい。もうひと月も風呂に入らず、体を拭くだけではな。

カ そこは我慢して頂くしか。昔入院した時のように。

勇 ならお前が看護婦代わりにわしの体を拭くか？

カ まだ五体満足ではありませんか。

勇 まだとは何だ！。もうこの棺桶にはあきあきしとる。温泉に連れて行け！近くにゐるだろ？

カ ．．例の無人島にある家は檜風呂がついています。

勇 ．．ふん．．それで？進展は？

カ はい。まず、中東から会長の委任状が届きまして、それをもとに連日連夜の会議が続いています。

勇 笑う）皆で茶番を演じとるわけか。

カ 必要なことです。

勇 ご苦勞なことだ。

カ 来週、シャイニーの幹部連が来日しますので、具体的に話を詰める予定です。そのあと緊急株主総会が開かれ、事の経緯を株主に話します。．．雑誌の記事、読まれました？

勇 ．．ああ、あれか。顎で床を指す）会長失踪の謎というタイトルだけは気に入った。

カ 内容は？

勇 つまらんな。夢遊病の気があつた？痴呆の症状が出てい

カ た？お前が流したのか？

カ いえ。しかし世間とマスコミが納得する内容です。

勇 疑問に思う奴はおらんのか？

カ いないこともないですが、影武者さんがうまく動いてくれています。あちこちに会長のお姿が映った映像が見つかります。ドバイの高級ホテルとか。

勇 そいつ、もう姿は消したのか？

カ ええ。もう中東からは出てます。裏口からですが。そしてしばらく海外を周遊して数年後に日本に戻るでしょう。世間が今回の件を完全に忘れた頃に。

勇 その頃、わしは？

カ 別荘で檜風呂に浸かっているはずですよ。

勇 土の中かもな。

カ ．．お世辞でも何でもなく、確信を持って言いますが、あな

たはあと十年以上は元氣のはずです。

勇 . . . はず、では確信とは言えん。

カン あの近田雄之助の息子なんですから。

勇 . . . 知った風なことを言うな！ 真一からも話を聞いたのか？

カン それもあります。

勇 真一は親父の本質を知らん。

カン 先週、会長から直接生い立ちの話を聞きました . . . とても興

味深いお話でした。軍人であったお父上の話、病に倒れた母

上の話、あの戦争で亡くなったお兄さんの話 . . . しかし会長、

話の中で意図的に触れていないところがあります。

勇 自己紹介は苦手でな。

カン お父上が家を出た本当の理由です。

勇 それは話した。

カン ええ。しかし私が知っている内容と少々、違うものですから。

勇 . . . 親父を一番知っとるのは、わしだぞ。

カン 私も近田雄之助を知っています。

間。

勇 いやいよお前の正体が明らかになるか . . . 。

カン ええ。

勇 知っている、とは直接会ったと言う事か？

カン はい。

勇 いったどこで？ . . . 待てよ . . . 親父はお前の国に行つて

カン お察しの通りです。

勇 そうか . . . 盲点だったな。親父はてっきりヨーロッパのどこ

かにいるものだ . . . 。

カン なぜヨーロッパだと？

勇 特に理由はない。単純に消去法だ。親父は関東軍の将校だっ

たからな。まさか中国やロシアには行くまい . . . 語学が達者

でな、中国語の他に、英語とドイツ語と . . .

私の国では私の国の言葉しか話してませんでした。

カン 確か親父が家を出たのは . . . 。

勇 昭和52年、1977年です。

カン よく知っとるな。親父から聞いたのか、それとも別の誰かか？

勇 村の者からです。日本には戻らん、探してくれるな、の置手

カン 紙を残してきたと。

勇 . . . それは真一も他の家族も全員知っとることだ。

カン 戦後、BC級裁判にかけられるところだったと。

間。

勇 . . . 親父はいつ死んだ？

間。

勇 お前はどうかやって親父と知り合った？

間。

勇 なぜ黙る？ 嘘なのか？

カン いえ。私はただ、戦争で息子一人を亡くし、戦後は公職追放で惨めな生活を送り、戦後の風潮で戦争を語れず、日本らしさを失い続ける豊かさを素直に享受できない方を、全てを捨てて家出するまでになぜ追いつめたのかと。

勇 . . . 前に話した通りだ。戦後は酒ばかり飲んで荒れとったかな。わしも強く咎めるようになって口論が絶えなかつた。プライドの高い人だったからな。 . . . 息子に説教されることが耐えがたくなつたのだろう。

カン それで、日本を捨てますか？

勇 親父の心の中までは知らん。 . . . 戦後日本の雰囲気嫌っていったことは確かだがな。

カン 潔癖な方ですから。  
勇 そうだ。潔癖過ぎたんだ。親父はあの関東軍の中にも潔癖だった。中国での蛮行に何一つ関わらなかつた。何人もの親父の軍人仲間からその話を聞いた。親父は潔癖だった。 . . . それゆえ戦後の空気に馴染めなかつた。 . . . 思うに親父は戦後切腹すべき人だったのかもしれないな。

カン 死に時を誤つたか？  
勇 わしはそう思つとる。

カン なぜ敗戦後、切腹しなかつたのでしょうか？

勇 なぜ？ そりゃあ誰だって長生きはしたいだろう。 (笑う)

カン . . . 会長 . . . あなたも元軍人ですね？ あなたはなぜ切腹

しなかつたのですか？

勇 . . . 何だと？

カン あなたは . . . あの方の目の前で、日の丸の旗を、燃やしました。

勇 . . . .

カン 誇り高い元軍人の目の前で、元軍人の、息子たるあなたが。

勇 . . .  
靖国神社から戻ってきたあの方に、塩を投げつけました。

勇 . . .  
さも汚らわしいものが体についているかのように。

勇 . . . お前 . . .  
あなたは、昭和天皇の誕生日に、宮城遥拝するあの方の姿を

あざ笑いました。

勇 誰なんだお前は . . .

私はあの方の、息子です。

間。

勇 息子？ . . . 養子か？

カン いえ。父、80歳の時、現地の娘に産ませた子供が、私です。

間。

勇 証明できるのか？

カン 真一さんには数年前に話しています。現地に人を派遣して確

認したそうです。むろん今でも極秘です。

勇 馬鹿な . . .

カン もっとも国籍も名前も父は捨てています。私が父の日本名を

知ったのは、村の年配者から聞いただけで、父自身は日本語

も話しませんし、日本のこともあまり。

勇 さっきの話は親父から聞いたんだろう？

カン ええ。父は百歳近くまで畑に出ておりましたが、引退したあ

とは手持ち無沙汰なのか、私が日本の大学に行くこと決まった

あとくらいからぼっぼと . . . 父の名前から会長の名を知り、

この会社を知り . . . ご理解頂けますか？ あなたは私の義

兄なのです。兄なのです。そして私とあなたのこの時間は、

私の私的な復讐の時間でもあるのです。

勇 . . . 復讐だと？

カン はい。失われた父の時間への。

勇 それは親父の遺言か？

カン まさか。私の勝手な行動です。

勇 その為にわしの会社へ？

カン 興味から . . . 入社したのは父と家族のことを知りたいたいという純粋な

勇 . . . おい . . .

カン はい。

勇 親父はいつ死んだ？

間。

カン 父はまだ生きてます。

勇 !  
カン 御歳115。未だ健在です。

暗転。

黒子、ロウソクを消す。

五場

明転。

布団が敷かれている。無人。  
布団の周りにはビールの空き缶、空の酒瓶がいくつか転がっている。ゴミが散らかっている。

勇が下手通路側から出てくる。パジャマのズボンを直しながら。  
勇、布団に入って、寝る。

上手上の穴付近に足音。  
カンが買い物袋を手にも、降りてくる。

カン、しばし勇を見つめる。反応しない勇。

カン 会長．．兄さん．．兄さん！

勇 顔を向けずに）何だ、うるさいぞ。

カン 酒を買ってきました。

勇 顔を向け）おお、そうか。

勇、手探りで枕元の眼鏡を取り、掛けてからフラフラと立ち上がる。

カン、袋を格子の間に入れる。

勇、手に取り、布団へ戻ろうとする。

勇 二日酔いにはこれが一番．．。

カン 兄さん．．兄さん！

勇 何だ！ 馴れ馴れしく兄さんと呼ぶな！

カン (シートを見せて) 543万と5千円です。

勇 . . . おお、そうか . . . 忘れとった . . . 袋を置いて、イスに座る) 買い物したけりゃ、金払え、だな . . . (小切手を切る)

ほれ。

カン (受け取る)

勇 さてと。(立ち上がる)

カン 兄さん．．．あれから毎日飲んでるようですが．．．飲まずに

はいられませんか？

勇 ．．．。

カン 色々と昔のことを思い出しますか？

勇 転がっている水のペットボトルを拾い、イスに座り、水を

ごくごくと飲む。大きなため息(記憶力テストでもするか？

カン 私は近々帰省します。2、3日ですけど．．．父に伝言はあり

ますか？

勇 (怯える)．．．ない．．．ない！

カン ．．．そうですか．．．。

勇 ．．．ない．．．。

間。

カン 会社の件で報告です。今朝、経理部長が告訴されました。

勇 ．．．何だと．．．山中がか？

カン ええ。

勇 ．．．何の罪だ？

カン 背任、横領、粉飾決算です。

勇 ．．．はめたのか？

カン ええ。

勇 ．．．どういうことだ？ 役員は一枚岩じゃないのか？

カン 彼はあなたの仕事を手伝っていましたが。それに粉飾決算

は事実です。

勇 ．．．そんなこと役員は皆承知だろう？

カン 生贄は必要です。会社が浄化されているイメージは。

勇 ．．．30年、真面目に勤めてきた男だぞ。

カン 真面目に犯罪を犯されては困ります。

勇 ．．．他には？

カン 専務は退職します。

勇 ．．．自分の意志か？

カン もちろんです。

勇 ．．．全員の弱みを握っとるのか？

カン ええ。優秀な探偵がおりますので。

勇 ．．．お前のことか？

カン そうです。

間。

勇 カン 一体何なのだお前は！ 親父の弔い合戦のつもりか？

勇 カン そうですよ．．．兄さん。あなたが信頼していた仲間は全員失

勇 カン 墜し、何よりかわいい会社は中国の会社に吸収され、そして

勇 カン あなたは無入島で孤独に死んでいくのです。

勇 カン ．．．。

勇 カン 中国側と私の思惑が一致していたのです。そこで中国側のス

勇 カン パイになるのは理の当然だと思いませんか？

勇 カン ．．．。

勇 カン 私の事情を話すと、中国側は私を信頼してくれました．．．そ

勇 カン れにしても日本人の脇の甘さは天下一品ですね。もう少し、

勇 カン プライベートな行動に注意を促したほうがよろしかったのか

勇 カン など。

勇 カン ．．．真一は何も気づいていなかったのか？

勇 カン 私から話しましたよ。役員の個人的な秘密、会社の秘密をす

勇 カン べて知ったうえで、ですけど。

勇 カン ．．．お前の描いた計画にしてやられたわけか．．．お前みたい

勇 カン な若造の．．．。

勇 カン 私と中国側の、計画です。

勇 カン ．．．満足か？

勇 カン 今のところ順調です。

勇 カン ．．．これ以上、何がある。

勇 カン ．．．次男の登さん．．．あなたと絶縁してどれくらいですか？

勇 カン ．．．あいつのことは言うな。

勇 カン 約30年前、登さんが30歳くらいの時ですね、御二人の仲

勇 カン が決裂したのは．．．その原因、覚えていますか？

勇 カン ．．．。

勇 カン あなたが公然と何人もの愛人を囲い、奥様の芳江さんが病に

勇 カン 倒れても病院に顔も出さず、それを詰った登さんに、お前よ

勇 カン り愛人の子のほうがずっと利口だ、と言ったことが原因です。

勇 カン ．．．ただの口論だ．．．。

勇 カン あなた、父に対して、どうして自分の妻を大事にしないのだ、

勇 カン どうして母に暴力を振るうのだ、と詰ってます．．．これは真

勇 カン ．．．さんの幼い頃の記憶です。

勇 カン ．．．。

勇 カン まったく同じ事をしているわけです。

勇 カン ．．．酒に酔って暴れるのとはわけが違う。

勇 カン 戦後の風潮で自棄になり家族に当たると、冷静に家族の心

勇 カン を切り刻むのは、どっちが残酷なんでしょう。

勇 . . . わしは身を粉にして働いてきた。  
カン よく存じております。

勇 仕事も家庭も完璧だという人間は存在せん . . . 親の心子知らずとはよく言ったものよ . . . すべてがうまく回るなんてことは、あり得ん。

カン 長女の幸子さん。あなたの勧め縁談を断り、別の男性との結婚を機に会社を辞め、旦那さんがこの会社に誘われているのを必死で止めたそうです。あなたの管理下にいたくないから。これは本人の弁です。

勇 反省を促しとるのか？ このわしに。

カン 像は木の上に登れません . . . あなたが反省できないのと同じです . . . それにしてもあれだけ嫌った父と同じように振舞っている御自分の姿は見たくないものですか？

勇 . . . 罰を与えているつもりか？

カン はい？

勇 親父の持て余した精力の残り種であるお前が、まるで親父の亡霊のように現れたお前が、わしを道徳的に責める罰か？

カン (笑う) 兄さん。私にはあなたを道徳的に責める資格などありません。

勇 じゃあ、なぜ責める？

カン 父の代理になる資格はあると思っっています。

勇 . . . わしと親父のどが同じだ！ わしは大企業の会長だぞ！ 裸一貫から築き上げたのだ . . . 落ちぶれた元軍人と一緒にするとはな . . . 全国に何万といる従業員のことを、

カン (遮る) 振る舞いが同じだと言ってるんです。(懐から手紙を取り出す) これは登さんから預かった手紙です。あなた宛の。

勇 . . . 登から . . . 会ったのか？ お前まさかこの状況を . . . 話してません。あなたのことは鋭意搜索中だと伝えていきます。もし見つかったら、と言って書いて貰いました。 (差出す) どうぞ。

勇 (受け取り、しばし見つめたあと、手紙を粉々に破る)

カン (冷静に) . . . いいんですか？

勇 お前、読んだんだろう？

カン ええ。

勇 じゃあ、かいつまんで話せ。

カン . . . 怪物の本領発揮ですね . . . 内容はまあ、家族経営の農場で皆、元気にやっていると . . . あなたのお孫さんも . . . それと、その昔、高額の小切手が何度か送られてきたと . . . それはすぐに返却したが、ああいう社会的なポーズしかとれないあなたは不憫であると . . . 結局お金でしか人と繋がれないの

だと．．．そんな社長と従業員みたいな家族は御免であり、それで家を出たと．．．その時の決断には一ミリの後悔もないと．．．兄の真一をいいロボットに仕立てましたねと．．．あなたは我が子に愛がないのに愛があると自分で思い込み、周りにもそう思わせようとしていると．．．その欺瞞に自分は気づいたのだと．．．兄はその欺瞞に引き裂かれ、それに耐えるために己の感情を殺したのだと．．．あなたは自分の空っぽの心を満たすために名誉、名声、金銭が必要であり、家族も世間体を保つための道具に過ぎないのでしょうと．．．まあ、そんなところですよ。

勇  
カ  
ン  
好かれていませんね。

勇  
カ  
ン  
やつの自由だ。

カ  
ン  
その性格があつてこそ、一代でこれだけの会社を創り上げたのですから、仕方ありませんか？ 経団連の副会長まで努めた政権与党の幹部と親しみ、うん十年と我が世の春を謳歌したのですから、これ以上は望めませんか？

勇  
カ  
ン  
皮肉はよせ。  
ちなみに手紙にあつたように、社長の真一さんですが、もの見事にあなたの家長的態度を引き継いでおられます。彼の息子さんは精神に異常を来たし、ずっと入院中です。妻の洋子さんもアルコール依存症．．．そしてそんな家族を尻目に真一さんは仕事に励み、愛人宅に通い．．．仕上げとして父であり、会長であるあなたを切り捨てた。あなたが父を捨てたように．．．まったく見事な怪物振りではありませんか。あなたは息子さんを誇りに思わなければいけません。

勇、ゆっくりとした動きで酒瓶を取り、コップに注いで飲み始める。  
カン、しばし勇を見つめる。

カ  
ン  
さて。そろそろお暇します．．．明後日には父と会います．．．何か伝言は？

勇、無言でラジカセのスイッチを入れ、CDを流す。  
美空ひばりの曲が流れる。(東京キッド)  
見つめるカン。そして無言で上手上の穴から、退場。  
静かに曲を聴きながら、酒を飲む勇。  
暗転。  
曲、徐々に小さくなって、消える。

六場。

明転。

勇、敷かれた布団の上で胡坐をかいている。

カン、近くに立っている。

牢屋内、テーブルの上など、前場より空き缶、空瓶で散らかっている。

勇　．．．そうか．．．。

カン　ええ．．．大往生です．．．私もこう言っただけですが、タイミングよく帰省したものです．．．死に際を看取れましたし。

勇　．．．そうか．．．死んだか．．．。

カン　ええ。

勇　お前．．．親父には伝えていたのか？　わしの会社にいることを。

カン　ええ。ただ、入社して2、3年経ってからです。

勇　親父は何と？

カン　自分のことは話してくれるなど。

勇　でも話したんだろ？　真一に。

カン　今回の計画を実行するためにです。社長の叔父に当たるわけですから私は。容易に懐に入りました。

勇　それは親父には？

カン　いえそれは．．．ただ、お父さんの家族のことを、とりわけ次男の勇さんのことを調べましたが、話に違わずとても酷い人ですね、と．．．自分の家族をないがしろにし、じつに横暴な人ですね、と．．．それで父が家を出た理由を聞いたのです。

カン　．．．。

勇　私はお父さんのために、あの人に復讐したい．．．そう言ったのです。

カン　．．．親父は？

勇　そんなことはしなくてよい、と．．．お前は大学で復讐の仕方を学んできたのか、何て言われました。　(苦笑)

カン　．．．してるじゃないか、復讐。

勇　．．．その時父は．．．日本を、戦友を、長男の雄一さんを、よりによって我が息子に虐げられた、自分にはそれを止めることができなかった．．．そんな息子に育ててしまった．．．もはや英霊に合わせる顔がない．．．靖国に入る資格もない．．．ならば縁あるこの地で眠りたい．．．そう言いました。

勇　．．．　(嘲笑)　狂気じみとるだろ？

カン どっちがですか？

カン ．．．しかしこれらはきっかけなんです。

カン ．．．何？

カン 儲ける為のきっかけ。

カン ．．．分り易く話せ。

カン ．．．つまり、復讐のきっかけに会社の吸収合併の話があるのでは

カン なく、逆なんです。吸収合併するきっかけに今回の復讐話がある

カン ．．．あります。私にとっては、です。

カン ．．．。そうすね。私は日本の大学で2年間過ごしたあと、アメ

カン リカの大学に編入し、大学院まで学びました。卒業後、弁護

カン 士事務所です。1年間。そこでの5年間の生活が私の人生を決

カン 定づけました。まあ早く言えば感化されたわけですが、西洋

カン 人のものの考え方に。大学ではいかにして合理的に合法的

カン に儲けることができるのかという話ばかりで。起業する学

カン 生も多かったです。弁護士事務所では被害者を探し出すのにや

カン っきになりました。これはいいチャンスです、相手から大

カン 金を絞り取れますよ、あなたは被害者なんです。是非、被

カン 害者になってください。そうそう、大学には同じ留学生の中

カン にイギリス貴族の娘とか、アラブの大富豪のご子息とかが

カン おります。彼らのお金の使い方には度肝を抜かれました。彼

カン ．．．資本主義とは何ぞやと嫌でも考えさせられました。彼

カン らは儲ける為の図面を引いて、それに沿って人と付き合える

カン のです。そこに人間的な躊躇があってはならない。あく

カン まで成功者ですが。私は祖国を貧しい国だとは思わない

カン ．．．皆、豊かな心を持っていきます。そこが弱みにもなりま

カン すが。私は西洋の冷たさに惹かれました。あの鋭利なナ

カン イフを使いこなせるようになりたい。．．．。だが、お前のよう

カン 会社には西洋留学経験者は山ほどいる。．．．だが、お前のよう

カン になる奴はいない。

カン ．．．そこが日本の、日本人のいいところではありませんか。日本

カン の文化、伝統は、深い。まるでブラックホールです。そこで

カン 生まれ育った人は、その渦からは出れません。．．．むろん例外

カン はありますよ、あなたのように。

カン わしは人を誘拐して隔離したことはない。

カン ええ。しかし人を殺したことは、あります。

カン 間。

勇 何のことだ。

カン 流通の会社をやっていた駆け出しの頃。

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

カン . . . . .

勇 . . . . .

．．あなたの母ですよ、妻のはまに地図を描いて送って  
です．．しかし本土決戦はなかった。地図は日記に挟まっ  
ていました。大雑把な地図でして、探し当てるのは苦労しま  
した．．そしてそれから約70年、息子であるあなたは無事、  
ここに避難できたというわけです。

．．お前は昔から皮肉屋なのか？

（肩をすくめる）

何が避難だ．．そもそも隔離されるいわれもない。

ではこう言わせてください。隔離という名の強制疎開です。

．．。

．．あなたは戦争に負けるんです。

．．強制疎開という名の隔離だろ．．。

私の祖国にとって疎開は身近なものです。

．．。

未だ、たびたび内戦があるもので。

．．おい。

はい？

親父はなぜ、お前の国へ行った？

間。

カン あの大戦の末期．．父は中国から、私の国へきたのです。

勇 ．．なぜだ。

父は我が国の独立戦争に参加したんです．．指揮官が足りな  
いということだ．．日本の敗戦が確実視された頃、以前の宗  
主国をバックにした党と独立志向の党が互いの軍隊を持って  
．．もちろん父は独立側に立って、しかも前線の先頭に立っ  
て皆を指揮し、鼓舞して戦ったそうです．．当時を知る村人  
から聞いたのですが、とにかく敵の弾を畏れることなく前線  
に立ったと．．さすが日本軍人という人もあれば、あれはた  
だ死にたがっているだけだと、死に場所を求めているだけだ  
という人もいて．．しかし、敵の弾は父には当たらなかった．  
そして独立派が勝ったあと、父は何も語らず日本へ帰ったと。

間。

カン 軍人らしく戦場で死にたかったはずですよ。

間。

カン 兄さん。戦前戦中の記憶を遮断し、宗主国アメリカの意に沿って経済活動に邁進するのはさぞや楽だったでしょう。背負うものがないのですから、失うものがないのですから、金儲けが正義なのですから、欲望はすべてアメリカが担保してくれているのですから、それはそれは楽しかったことでしょう。都合の悪いことはなかったことにして。

勇  
カン 捲土重来を期すための経済活動が、いつからか父を断罪する道具になり、手段は目的となり、進んでそれを受け入れ、いつしか帝国の亜流に成り果てたのです、兄さんは、そして父を、軍人を、あの時代をすべて否定し、結果、父をも殺したのです。

勇  
カン 私。の国へきた時、日本人としての父はすでに死んでいた。

カン 真一さん曰く、あなたは常に追いつめられた兵隊のような張り詰めた空気で生きていたと。戦争で死んだ仲間たちに対する申し訳ないという意識。しかしあなたはそれだけではない。殺人を犯した罪の意識に耐えられず、それをあの時代の軍人に、父に押し付けていたのです。その卑怯な意識は連合国に、あの裁判に担保されていたのです。すべて奴等が悪いのだと。宗主国アメリカの精神に進んで膝を屈し、資本主義万歳と諸手を挙げ、返す刀である時代の一切を断罪し、すなわち兄の雄一さんも、同期の仲間も、さらに軍人であった自分自身さえも殺したのですあなたは。日本経済を牽引し、正義は我にありと快哉を叫び続けたあなたのその姿が、父にはどう写ったか。

勇 (急に拍手する) いや、じつに面白い講談じゃ。ど立ち上がりイスに座り、数字を書いて小切手を切る) ほれ。

カン どうした？ よくできたから小遣いじゃ。

カン 馬鹿にしているおつもりですか？

カン ほれ。早く取らんか。わしも暇ではないぞ。(時計を見る)そろそろ会議の時間だからな。遅刻してはいかん。

カン 何です？

カン (小切手を置いて) しまった。まだこんな格好を。ど立ち上がり、スーツに着替え始める)

カン 何をしてるんです？

カン 今日には確か第二会議室だったな。こんな大事なことを忘れてるとは、下手に向かって) おい芳江！ 車はもう来てるの

か？ また渋滞にはまるとえらいことだからなあ。

カ  
勇 わしはもうゴルフをする体力はないと言っておるのに、わがままな奴だ、あいっは．．代わりに真一に行つて貰うか．．靴下履いて、革靴も履く）さてと．．カンを見て）そろそろ行くか。

カ  
勇 どうした？ 早くドアを開けんか？

カ  
勇 ．．兄さん．．。  
カ  
勇 ．．兄さん？ お前誰だ？ 運転手じゃないのか？

カ  
勇 （下手に）おい安田！ 変な奴がおるぞ！ お前か中に入れたのは。牢屋内をうろろうろ）どこだわしのステッキは．．おい芳江、ステッキがないぞ。勝手に置き場所を変えるなどあれほど．．

カ  
勇 （下がってイスに座り、勇の狂態を見つめる）  
待てよ、会議のあとの会食は誰とだったかな．．また中華料理か．．胃薬も持たんとな．．あの医者が細かいことにするさいんだよな．．カンを見て）有志か．．有志だな．．お前、何してるんだ、こんな所で．．目をそらす）言つてもわからんか．．思えばお前も不憫なやつだ．．真一が不甲斐ないばかりに．．いや、真一は悪くない．．妻の洋子さんの血だろうな．．精神的に弱い家系なんだあそこは．．困つたものだ．．おい運転手はまだか！ そろそろ出発せんとまた遅刻だぞ．．仕事ができん奴に限つて会議の時間は守るんだからな．．会議が仕事だと思つとる．．。

勇、ぶつぶつ、うろろうろと。

冷静に見つめるカン。

暗転。

七場。

明転

黒子、牢屋内のロウソクに火を点ける。

勇、パジャマ姿でイスにきちんと座り、新聞を読んでいる。

スーツはきちんとハンガーに掛かっている。

牢屋内は片付けられ、整頓されている。

上手上の穴から、コンビニ袋を手にカンが降りてくる。

勇、ちら見するが、すぐ新聞に目を落とす。

カン 読みましたか？

勇 . . . ああ . . . やっと決まったな。

カン ええ。今会社はてんでこ舞いの状態です。袋を差出す) どうぞ。

勇 (受け取り) いくらだ？

カン (シートを見て) 345万と3千円です。

勇 書いて、小切手を差出す)

カン (受け取り) どうですか、体調は？

勇 ああ . . . 袋を手に) 薬のお陰でな。

間。

勇 週刊誌を読んだが、失踪ではなく、中東のどこかで密かに隠

カン 遁生活を送っているだと？

ええ。

カン . . . なぜ変えた？

カン 失踪だと暇な雑誌記者が色々な憶測記事を書きますので . . .

カン 我々はあなたの居場所を見つけたが、本人の意志を尊重し見

守っている状態 . . . なわけです。

勇 ふん . . . おい。

カン はい？

勇 わしは無入島でも小切手を切るのか？

カン (笑う) いえ。そこでは何も。

間。

勇 社名のS&T貿易ってのは . . . 。

カン シヤイニーのエスと近田のティーです。

勇 . . . 役員の半分は中国側か。

カン 2、3年後には8割がたが、そうなります。

勇 真一は社長のままだな。

カン 来年には引いてもらって、あなたのイスに座ります。

勇 人を誘拐して島流しにすることを容認する会社が長持ちする

カン と思うか？ どう考えても尋常じゃない。

勇 もともとまともな会社ではありませんよ、シヤイニーは。

カン . . . 。

カン 中国の裏社会とも深く繋がってます。だからこそ、私は今回

の話を持ちかけたのです。まともな会社ならこんな話に乗る

わけがありません。

勇 . . . お前の目的地はどこなんだ？  
カン 単純に儲けることです。私は資本主義にこの身と魂を預けた

側には充分伝わっているはずですよ。真一さんも私と同じ考え  
だと思えます。

勇 . . .  
カン 今やっていることが、新会社へ忠誠を誓っているようなもの  
です。ゲームですからね、資本主義は。スリルとサスペンス  
に満ち満ちた、人生ゲーム。

勇 . . .  
カン 兄さんは過去を振り切るために、私は金儲けのために、金儲  
けに邁進します。

勇 . . .  
カン 享樂主義に罹患したのです、私も兄さんも。

カン ただ私の国には日本のような歴史や伝統はない。ブレーキ  
がないんです。中和剤が。よって兄さんより、初期症状  
としての、私の病は重い。

勇 . . .  
カン 笑う。それが血の繋がった兄を島流しにできる理由か？  
を知らないことになっていきます。しかしそれを認めました。

勇 . . .  
カン . . . おい。  
はい？  
自分のしていることの残酷さの自覚はあるか？

勇 . . .  
カン . . . 命乞いですか？  
何を今さら。あるかと、聞いています。

勇 . . .  
カン . . . あなたにはそれを受け取る義務がある、と私は思うのです。  
. . . 罪の意識はないんだな？  
ありません。自分の中で納得できる合理的な理由があるので

勇 . . .  
カン . . . 結果、合法的にもなりません。  
. . . 手紙を書いたからな。 . . .

間。

勇 . . .  
カン . . .  
はい。

勇 . . .  
カン . . . 合併祝いと引越し祝いをやろうじゃないか。  
. . . それはどうも。  
今日ぐらいはアルコールを解禁しろ。

カン　．．まあ．．しかしですね．．。  
勇　わしの敗戦記念日だ。自棄酒くらい、いいだろう。  
カン　．．父も当時、同じことを言ったのでしよう。  
勇　最後の最後まで皮肉か。まあいい。それを肴に飲もう。最後の晩餐だ。弟よ。汝を招待する。  
カン　（笑顔で）光栄です。

暗転。

ロウソクはそのまま。

八場。

明転。薄明かり。

勇、布団で寝ている。

牢屋内は空瓶やゴミで散らかっている。

うなされている勇。

やめて．．やめてください．．お父さん．．やめてください．．。  
（足で掛け布団を跳ね除ける）止めろっ。（と目覚める）

勇

勇、半身を起こし、周りを見渡して脱力する。

そして上手を見て、驚愕し、下手に飛びのく。

上手上の穴からの月明かり、強まる。

勇

お父さん！　．．なぜ、こんなところに．．そうですか、ボクを責めに来たんですか．．あんなに一生懸命、働いてきたボクを．．そんな目で見ないでください．．恨んでいるのですか．．それは筋違いというものですよ．．あなたのせい、軍人の家族ということ、ボクらは辛い目に合いましたよ．．あいつの親父は関東軍だ、中国で酷いことをしてきましたよ．．でね．．お母さんの苦勞を考えたことはありますか．．今まで働いたことのない母が、40になつて家族みなのために．．ボクは闇市でのし上がるために裏社会とも繋がりましたよ．．さんざん悪いこともしましたよ．．でもねお父さん．．あなたの酒代を稼ぐのにはそれだけじゃあ、足りなかった．．家族は皆、あなたに同情してましたよ．．二十年以上、軍人として国の為に命をかけて戦ってきたのに、それまで尊敬されてきたのに、戦後は掌返しですからね．．しかしですね、お父さん．．覚えていますか．．お母さんが過勞で倒れ、ボクも一時期MPにしょっぴかれて、家族の収入が途絶えた時期

があつたんですよ．．．その時．．．和子が．．．上の妹の和子が．．．体を売ったんですよ！．．．知らないとは言わせませんよ、お父さん！．．．我々家族は．．．和子が体を売った金で暮らしたんですよ．．．あなたはその金で酒を飲んだんですよ！．．．貧乏は嫌ですねお父さん．．．惨めだった．．．ボク達が血の涙を流した時にお父さん、あなたは何と．．．女郎屋に通いましたね！．．．和子がまさに体を売っているその時に！．．．墮ちた帝国軍人のその姿は見るに耐えないものでしたよ．．．ボクはそれこそ死に物狂いで働きました．．．当たり前でしょう．．．もう貧乏は嫌だ．．．ボクは成功しました、友達と始めた闇物資の取引から流通に手を広げ、ついには海外との貿易まで．．．ボクは成功しましたよお父さん．．．お金を稼ぎましたよ．．．危ない橋を渡ってね．．．それなのにあなたは．．．なぜボクを詰めるのです．．．なぜボクを殴るのです．．．あの当時、アメリカ人と手を組まずしてどうして会社が大きくできますか！．．．あなたはそれが嫌だったのでしよう、ボクがアメ公と手を組むのが．．．でもそれはあなたが働かなかつたからでしょう．．．公職追放になつたぐらいで自棄になり．．．お母さんがあなたや和子のこととどれだけ心を痛めたかわかりますか．．．そうやって死んでいったんですよ．．．私は成功した．．．そのためにはどんなことでもしました．．．それをお父さんあなたは．．．軍人精神が足らんとは何ですか！．．．ボクはいいですよ、何を言われようとされようと．．．しかし和子に対して．．．和子に対してこのパンパンと．．．売春婦がと．．．ボクはねお父さん．．．その時あなたを殺してやろうと決めたんですよ．．．その軍人精神とやらをね．．．どんなに貧乏でもこれだけはと母が守り通したあなたの軍服．．．わけのわからない、役にも立たない勲章が張り付いたあの軍服．．．それを物々交換で酒に変えたと知った時のあなたの顔．．．泣き笑い）そしてその酒を飲み始めたあなたの背中．．．その時、軍人としてのあなたは死んだのですよ、お父さん．．．辛かった．．．そのお姿を見るのは辛かったですよ．．．あなたは家族の名誉、そのものでしたからね．．．一族の誇りでしたからね．．．そんな目で見ないてください．．．恨んでいるんですかボクを．．．軍服を酒に変えたボクを．．．日の丸の旗を燃やしたボクを．．．あれはあなたが会社の経営に口を出すからですよ、経営のことなど何もわからないのに．．．なぜ時代が変わつたことを認識せんのです．．．何に拘ってるんです．．．戦争に負けたんですよ、貧乏になつたんです．．．まずは金を稼いで捲土重来を期す．．．それでいいじゃないですか．．．経済戦争で勝てばいいではないです

か・ボクは成功しましたよ・勝ったんですよお父さん！・  
それの何が気に入らないのです・ボクはアメリカに感謝し  
ていますよ・我々軍人を・軍人精神とやらの化けの皮を  
剥がしてくれたのですから・ボクに商売のやり方を教えて  
くれたのはアメリカ人でしたよ・ボクは感謝しているんで  
す・それを帝国の小間使いとは何たる言い草ですか！・  
あなたが頭を下げるべきは天皇陛下なんかではなく、ボクや  
和子やお母さんにでしょう！・それを暇さえあれば遺骨収  
集だ、靖国参拝だ・どうしてそれができるんです・お金  
があるからでしょう！・ボクが稼いだお金が・お金にな  
いと何もできんですよ・和子は数年前に亡くなりました  
・こんな体だからと一生独身で過ごしましたよ・愚痴一  
つ、泣き言一つ言わず・あれは強い女だった・そうでし  
よお父さん・下の妹の安子はまだ生きてますよ・旦那や  
子供、孫たちに囲まれてますよ・ボクですか・ボクはこ  
の様ですよ・しかしボクは成功した・成功者なんですよ、  
お父さん・少しは褒めてくださいよ・お父さん、ボクを  
褒めてください・どこに行くんです・お父さん、ちよっ  
と待ってください・お父さん！・兄さんはそこですか？  
ボクは兄さんに許しを請いたいんです！　どこですか兄さん  
は！　お父さん！・・・

月明かり、徐々に薄まりやがて消える。

勇、格子を両手で握り締め、上手を見つめ続け、やがてう  
なだれる。

暗転。

黒子、ロウソクを消す。

九場。

明転。

カン、立って勇を見つめている。足元には紙袋が置いてあ  
る。

勇、元気にラジオ体操？的なことをしている。

勇

(手紙を読む口調で)ボクも最近寝坊しなくなりましたよ、  
お父さん・ちゃんと勉強もしてますよ、今度帰ってきた時  
に成績表をお見せしますから・きつとびつくりしますよ・  
兄さんは元気でやっていますかねえ・ボクは兄さんが羨まし

いですよ．．早くボクも軍隊に入って一緒に戦いたいなあ．．無敵ですからねえ、我が日本軍は．．支那はどうですか、お父さん．．随分と広いところらしいですねえ．．下手を見て普通の口調で）おい和子！ 安子も！ 早くきて体操をしないか。健康な体を保たないとお国の為に戦えないぞ。今現在、軍人さんは戦っているんだ．．この大和の国を守る為にね。

勇は幻想の中で喋っている。カンの声は聞こえない。

カンは半分観客に、半分は勇に話すように、独白調になる。

カン

勇

カン

兄さん．．昨日の酒はおいしかったですね．．私は自分があるなにくつろいだ気持ちで酒を飲めるなんて思ってもいませんでした．．やはり血が繋がっているからなんでしょうか．．え？ もう御飯の時間ですか。そうですか。ち、体操をやめ、正面を向いて正座する）あ、どうも。ち茶碗を受け取り、ちやぶ台に置く仕草）では、いただきます。御飯を食べている仕草）．．お母さん、今日のおみおつけは特別においしいですねえ、こんなにお豆腐が．．それに煮干まで、いいんですかお母さん、贅沢は敵ですよ．．あ、こら安子、御飯粒が落ちてるぞ、いいかい、米の一粒でも無駄にしてはいけませんよ．．何がおかしいんですお母さん．．え、お父さんにそっくりな物言いですって？（照れる）やめてくださいよお母さん．．あ、空襲だ．．大丈夫ですよ、お父さんと兄さんが見守ってくれています、爆弾なんか当たりっこありませんよ。

昨晚のあの感じは何と言いますか、とても懐かしい感じがしたんです．．やはり兄さんは父の子供なんですわ．．今さらですが、声も仕草もとても父に似ている．．私は途中から父と日本語で会話している錯覚に陥りました．．父が心を開いて本音で話していると．．そして不覚にも涙がこぼれそうになつたんです．．。

勇

カン

（カンの独白の途中で御飯の仕草から、剣道の素振りの仕草に変わっている）泣かないでくださいお母さん．．泣かないで兄さんを褒めてあげてください．．手紙にもあったでしょう、陛下の赤子として潔く散る覚悟はできている、もしこの体が戻らなくとも悲しむな、魂は必ず戻る、戻って護国の鬼となるよ．．私が、私が必ず兄さんの仇を取りますよ．．支那の兵隊を懲らしめてやりますよ。

私はここ十年ほど泣いたことがあります。父が亡くなった時でさえ．．そのことが誇らしくさえありました．．お陰で昨晚は動揺しましたよ．．焦りもしました．．鉄の心を手に

勇

入れたと思っていたのに．．氷の精神を身に着けていたはずなのに．父に言われた言葉が頭をよぎったのだろうか？ それとも体に流れる日本人の血がそうさせたのだろうか？ そんなことを考えるほど、私は動揺していたのです。砂漠でオアシスを発見するのは本来、喜びなのですが．．。

（カンの独自の途中から、素振りを止め、斜め後ろを向いて正座している）いいかい、和子も安子も．．日本が負けたなんて二度と口にしちゃいけないよ。日本が負けるはずはないんだ。こうして兄さんも見守ってくれている。（位牌を指す）我々の仲間も皆、意気軒昂だ。鬼畜米英なんかは日本の大和魂は屈しない！ 日本民族は永遠に不滅である！ そう信じる心を忘れちゃいけないよ。教育勅語はちゃんと覚えておかない。我々には天子様がついておられる、何も心配することはないんだ。

勇

私は帝国主義に純粹培養されたと思っていました．．しかし考えてみるまでもなく、私は南国アジアの出身で、そこで生まれ育ち、さらに父親は元．日本人なのです．私は表層を学んだだけだったのか．．それとも日本で暮らしているうちに、私もまた、日本独特の渦に知らず巻き込まれているのだろうか．．義理人情の世間に、付和雷同の社会に、あるいは一族の血．．そんなものに捕らわれているのだろうか？

勇

（独自の途中から格子を両手で握る）何？ 死刑にはならない？ ．．そうか、父が動いたのか．．そうか．．何、反省しろだと？ ．．けっ、あの野郎はよそ者だ。この辺の仁義を知らねえ．．馬鹿野郎、この世界で生きてえなら、ちゃんときたりを学べってんだよ．．立場を考えろ？ 冗談言っちゃいけない．．メンツに拘ってる暇なんかねえぞ．．食っていかねえとな．．ひたすら生きてくことに決めただよ俺あ．．なあ弁護士さん、あんたも引き上げ者か．．どこだ、大陸か？ ．．南方か．．よく生き残ったな．．なあ、元軍人なんて肩書きはクソの役にも立たねえ．．ここを出たら俺と一緒に仕事しようじゃねえか．．何？ 帝大を出た自分がヤクザな仕事ができるか？ ．．けっ、笑わしちゃいけないよ．．いいか、俺の名前をよく覚えとけ．．俺は必ずこの世界でのし上がったてみせる。（そのままの姿勢）

カン

私は改めて考えました。あなたは会社の発展には邪魔である．．排除するべきである．．さらにには我が父を踏みつけにし、殺した男である．．我が祖国の英雄でもある父を．．罰を与えるべきである．．躊躇はいらぬ．．私にはそれをする資格がある、権利がある、裕子を掴んで勇と向き合うが、視線

は合わない) そうですね兄さん! . . . かし. . . あなたが、  
あなたが父を日本から追い出していないと、私はこの世に生  
まれていないのですよ. . . (離れる)

勇  
自社ビルからの眺めはどうだ、真一。大したもんだろ。お前  
も大学を卒業したらこの会社に来てお父さんを手伝え。やっ  
てくれるだろ。幸子に登も. . . お父さんが基礎は作った。あ  
とはお前達が伸ばしていけばいい。和子叔母さんも安子叔母  
さんもここで働いてる. . . 皆、ここで働けばいい。そういえ  
ば真一、お前田村物産の常務の娘といい仲間なんだって? い  
やそんなこと調べるわけないだろう、会社の誰それがお前達  
を見かけたと言ったんだ. . . ただまあ、あそこの会社はち  
と斜陽だぞ. . . 週末にな、桜銀行の部長とゴルフに行くんだ  
がな、お前も来い。部長の娘さんも来るらしいしな、若い人  
には若い人じゃないと話が合わんだろ. . .

カン  
知ってますか? 人間は一晚で黒髪から白髪に変わることが  
あるそうです. . . 一晚で. . . コペルニクスの転回というやつ  
でしょうか. . . 本当に、まったく想像もしたことはなかった  
のですが. . . 私にも良心という奴が芽生えたようです. . . い  
や、まさか罪の意識か: 誠に我ながら信じがたいのですが:  
兄さん、近田貿易の会長である兄さん. . . あなたをここから  
解放します. . .

勇  
幸子. . . 結婚するからって仕事を辞めることはない. . . 何な  
ら旦那をこっちに. . . おい登. . . どこに行くんだ? 戻って  
こい登. . . たかが言葉のあやじゃないか! 登! . . . 真一、  
やはり頼れるのは長男のお前だけだな. . . 真一? どこに行  
った真一. . . (カンに) おいあんた、真一を知らんか、どこか  
に行っちゃまったんだ。

カン  
勇  
ぞっぽを向いて) ちょっとお父さん、もうそんなまねは止  
めてくださいよ、ご近所の人に笑われてるんですから. . . 何  
です? うちの社員が自殺した? 記事を読んだのですか?  
週刊誌なんて何でも興味本位で書くだけで内情なんか何一つ  
わかっちゃいませんよ. . . それに我々は経済戦争を戦ってい  
るのですよ. . . 先の戦争でどれだけの日本人が死にましたか?  
同じことですよ. . . 我々はこれには勝たなくてはなりません。  
英霊の弔い合戦なんですから. . .

カン、ポケットから鍵を取り出し、格子のドアを開ける。  
それに気づいた勇、じっとドアを見つめる。

カン さあ兄さん、もう自由ですよ。ここを出て、警察に洗いざらい喋ってください。ただ私にも義理がありますので、会社側との関係は否定します。これは私が単独で、個人的な恨みで起こした犯行なのです。誰も関与していません。紙袋を取り、牢屋内のテーブルの上に置く。小切手はすべて返します。全部で数億円はありますね。無駄使いは控えてくださいよ兄さん。

勇 開いたドアを凝視している）  
カン 一つの日か、一族全員が集まって食事なんかしてみたいですね。父の写真を飾った部屋で。御伽噺ですけれど。

カン、上手に歩く。勇、それを見て、動く。

勇 曾だけ出して）おいあんた。そんなところで何してるんだ、危ないぞ、早く中に入れ。ここに居れば安全だ。父が見つけた隠れ家なんだ。

カン . . . 私はこれから警察に自首します。私が牢屋に入るのです。疎開は終わりです。世間に戻るんですよ兄さん。もう誰もあなたを隔離なんかしませんよ。昨晚は楽しかったですね。さよなら。兄さん。

カン、ゆっくりと手すりを昇り、穴から退場。  
勇、それを見ているが、外には出ない。

勇 お母さん、和子に安子も。さあ、そろそろ寝ましようか。外はもう真っ暗ですよ。B29だっこの場所には気づきませんよ、安心して休んでください。あ、またドアを開けっ放しにして。格子のドアを閉める。あれ、衝立がないなあ。変わったドアだ、外から鍵をかけるようになった。おい、誰か！ このドアに鍵をかけてくれ！ わしは今、一家の主なんだ！ 父や兄の代わりに皆を守らねばならん！ 子供も3人おるんだ！ 女子供は戦争に参加させちゃいかんからな！ わしには責任がある！ おい誰かいないのか！

勇が話しているなか、徐々に照明、暗くなる。

勇 誰かここにきて鍵をかける！ 錠をおろせ！

完全に暗転。

勇

絶叫）鍵をかけるー！

幕